

自分のために、大切な人のために がん検診を受けましょう

問合せ先 健康課健康推進係 ☎72-6682、80-2524

がん検診を受けて早期発見、早期治療を

がんは30年以上日本人の死因の第1位であり、現在は男性の2人に1人、女性の3人に1人が一生のうちに「がん」にかかると推測されています。

早期発見できれば多くのがんは治療で治すことができますが、自覚症状のない早期の段階でがんを発見するには、がん検診を受けることがとても重要です。

ところが、例年小郡市のがん検診受診率は20%前後にとどまっており、国が定める目標の50%には達していません。自分や家族、まわりの人のためにも、毎年がん検診を受けましょう。

平成26年度小郡市がん検診の結果

検診の種類	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	がん発見者数(人)
肺がん・結核	17,693	3,893	22.0	4
大腸がん	17,693	3,837	21.7	8
胃がん	17,693	2,898	16.4	2
子宮頸がん	9,279	2,136	23.0	1
乳がん	9,552	2,161	22.6	9
前立腺がん	5,819	1,383	23.8	10



※小郡市がん検診で34人の方のがんが見つかり、治療につながっています

総合健診のご案内

今年度の日程も残り少なくなりました。早めに予約をし、健診を受けましょう。

健診項目

特定健康診査(40～64歳)、若年者健康診査、胸部検診、胃がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、肝炎ウイルス検診

※肝炎ウイルス検診以外は予約が必要です

日 程		受付時間	会 場
10月	1日(木)	午前8時30分 ～11時	総合保健福祉センター 「あすてらす」
	2日(金)		
	4日(日)		
11月	26日(木)		
	27日(金)		
	29日(日)		
12月	11日(金)※レディースデー		
	13日(日)		
	14日(月)		

レディースデー 健診とは？

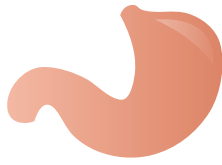
集団健診の受診者および健診スタッフが全員女性の健診です。(受付に男性スタッフが入る場合があります)



子宮頸がん検診、乳がん検診(視触診)は11月末まで小郡市内の指定医療機関でも受診できます。
詳しくは「平成27年度小郡市健康診査のご案内」または市ホームページをご覧ください。

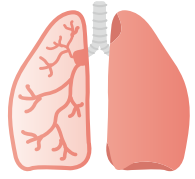
胃がん

近年新たに胃がんにかかる人は減ってきていますが、日本は世界的に見て胃がんが非常に多く発生する国です。塩分の多い食品や喫煙、ヘリコバクター・ピロリの持続感染などがリスク要因とされています。



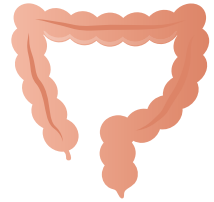
肺がん

肺がんは日本人のがんによる死亡原因の第1位となっており、いまだ増加傾向にあります。肺がんの最大のリスク要因は喫煙習慣です。また、受動喫煙によっても肺がんのリスクが高くなります。



大腸がん

大腸がんの罹患者数（新たにがんと診断された数）は、男性約7万人、女性約5万人となっており、女性ではがんによる死亡の中で一番多いがんです。家族歴（親やきょうだいなど直系の親族に大腸がんの人がいること）、肥満や高身長などの体格、飲酒、赤肉（牛・豚・羊の肉）・加工肉（ベーコン、ハム、ソーセージなど）のとり過ぎなどがリスク要因とされています。

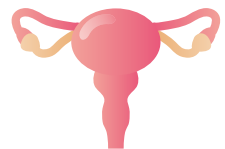


乳がん

乳がんは女性のがん罹患者全体の約23%を占めます。乳がんには女性ホルモンのエストロゲンが関わっており、初経年齢が早い、閉経年齢が遅い、妊娠・出産経験がない、初産年齢が遅い（高齢出産）、授乳歴がないことなど、長期間エストロゲンにさらされることがリスク要因となっています。また、一親等（自分の母親または子）の乳がんの家族歴、良性乳腺疾患の既往、飲酒などもリスク要因とされています。

子宮頸がん

子宮頸がんは、20歳代後半から40歳前後までの若い世代に多いがんです。早期に発見すれば比較的治療しやすく治る見込みがあるがんですが、進行すると治療が難しいことから、早期発見が極めて重要といえます。性行為によって感染するヒトパピローマウイルス（HPV）の感染がリスク要因とされています。そのほかにも、低年齢での性経験、性的パートナーが多い、多産、HPV以外の性行為感染症に感染していることなどがリスク要因として報告されていますが、その多くはHPV感染のリスク要因と共通しています。また、喫煙習慣もリスク要因となっています。



前立腺がん

前立腺がんは65歳以上から増えてきて、加齢に従って発生率が高くなります。日本を含むアジアでは前立腺がんは少ないといわれていましたが、近年では日本でも増加してきています。年齢（高齢者）、前立腺がんの家族歴などがリスク要因とされています。

がん予防のために心がけたいこと

がんの予防には、がん検診を受けることが重要です。対象年齢の人は必ず受けましょう。また、日常生活での予防について、次のようなことを心がけましょう。

- ・ たばこを吸わない、他人のたばこの煙をできるだけ避ける
- ・ 節度のある飲酒をする
- ・ 塩分の摂取は最小限にする、野菜をたっぷり食べる、飲食物を熱い状態でとらない
- ・ 日常生活を活動的にする、運動をする

